

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		口腔ケア連携推進				所管	健康部 健康課			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	82	計画事業名	口腔ケア連携推進			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] いつまでも健やかに自分らしく暮らせるまちの実現					[事業開始] 平成 2 1 年度			
		[施 策] 18 安心できる地域医療体制の充実					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			口腔ケア連携推進事業実施要綱				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民・医療関係者・介護事業者 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	要介護高齢者を中心とした区民が身近な地域で歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう、歯と口腔に関する各種の相談や調整を行う。また、医療・介護関係者との一層の連携により、かかりつけ歯科医の定着促進や口腔ケアを通じた口腔機能の向上を図り、区民の健康を維持する。								
	事業内容 [H30年度]	(1)三ノ輪口腔ケアセンターにおける歯と口腔に関する相談業務、関係機関との調整業務【相談件数59件】 (2)三ノ輪口腔ケアセンターや施設、在宅における口腔ケア指導、検査等実施に関するマネジメント業務【○指導・検査等件数:延359件 ○特養施設等におけるケアカンファレンス:延35件】 (3)口腔ケアに関する普及啓発【活動指標及び成果指標参照】 (4)事業にかかわる歯科従事者の育成【口腔ケアマネジメントセミナー実施(31.2.26):参加者51名】 (5)事業に関する評価検証【在宅療養連携推進事業の在宅療養連携推進協議会専門部会(口腔ケア)1回(31.1.11)】								
委託の有無	一部委託	委託内容		歯と口腔に関する相談、関係機関との連携および調整、口腔ケアに関するマネジメント、普及啓発、歯科従事者に対する専門知識の習得および育成						
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	講演会・研修会開催数	回	5	7	5	9	4	225.0%	
		施設訪問・在宅訪問対応者延数	人	1,200	3,139	3,172	1,962	4,000	49.1%	
	成果指標	講演会・研修会参加者数	人	150	103	104	231	120	192.5%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			6,242		5,866		6,172	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			12,114		12,037		12,044	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
総経費			18,356		17,903		18,216			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			5,280		5,321		5,270		
	一般財源(区負担額)			13,076		12,582		12,946		
課題及び今後の進め方	口腔ケアの重要性や三ノ輪口腔ケアセンターの活動について、区民や介護事業者などに対し、一層の普及啓発が必要である。今後増えることが予想される在宅療養患者に対する三ノ輪口腔ケアセンターが行う支援について、引き続き、在宅療養連携推進協議会専門部会で協議検討を行う。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	在宅における口腔ケアの重要性は高く、区民や介護事業者などからの歯や口腔に関する相談や、在宅療養中の高齢者への訪問相談を受け付ける本事業のニーズは大きい。							
	効率性	3	限られた人員の中で訪問や相談業務と並行しながら、昨年度よりも多くの普及啓発活動を効率的に実施した。							
	手段の適切性	3	歯や口腔に関する相談対応については、専門的知識が必要であるため、地区歯科医師会に委託することが適切である。							
目的達成度	4	今年度は、区民を対象とした講演会の実施回数を増やしたことに加え、新たに訪問看護師を対象とした口腔ケアの研修を実施したため、より多くの方に口腔ケアの重要性について周知が図れた。								
【総合評価】 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
今後、在宅で療養される高齢者の増加が見込まれ、口腔ケアの普及啓発が重要になっていく中で、区民向けの講演会等の普及啓発に併せ、在宅療養を支える専門職に対する口腔ケアの研修も重要となる。次年度以降も引き続き、口腔ケアの普及啓発に加え、関係者に対する専門研修を実施していく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		